

産学官の実務者が参加する いわて組込み技術研究会

岩手県内陸部の北上川流域地域には自動車・半導体・電気機械関連の企業が、県央の盛岡市周辺にはIT関連企業が多く立地しています。

ここ数年組込み分野への参入を志向する企業が増える一方で、IT関連企業同士横の繋がりは決して緊密ではありませんでした。

そこで、個々のポテンシャルを結び、相乗効果を生み出すことにより、本県全体の組込みソフトウェア関連の競争力強化を図ることを意図して、平成18年10月「いわて組込み技術研究会」を設立しました。

会長には岩手県立大学組込技術研究所の曾我正和所長が就任し、事務局を財団法人いわて産業振興センターが担当しております。IT関連企業、電子系製造業約30社をはじめ、産学官から実務者が参加する実働的なネットワーク組織です。

最近では会員企業同士で取引が成約するなど少しずつ成果が出てきております。

研究会は2ヶ月に1回のペースで開催しており、講師をお招きしての講演、最新の組込み技術・市場動向等の情報提供、県内産学官機関の組込み関連情報の相互交流、会員企業の紹介等を行っているほか、技術セミナーとして、組込みソフトものづくり塾（マイクロカーネル制作体験コース）、Matlab講習会、UML講習会を実施いたします。

また、組込み総合技術展に過去3年間出展しており、今年も県内企業と一緒に出展いたします。

「いわて組込み技術研究会」の年会費・参加料は無料です。

ご興味のある方は事務局までご連絡ください。

お問い合わせ先

いわて組込み技術研究会事務局（財）いわて産業振興センター 育成支援グループ 担当／三上
TEL 019-631-3823 FAX 019-631-3830



平成21年度 第1回研究会の様子

国際シンポジウム ～生体用コバルト合金の研究開発動向と将来展望～

岩手県では、平成16年度から文部科学省の委託事業である「都市エリア産学官連携促進事業」により、人工関節等の医療機器への適用を目指したコバルト合金の高付加価値化研究に取組み、耐摩耗特性に優れ、Niの実質無害化、磁化率を低減した各種コバルト合金を創成し、更に平成19年度からは、その研究成果を事業化につなげるために、閉塞鍛造技術による人工股関節のネットシェイプ加工技術の開発、耐摩耗特性に優れるメタルオンメタル型人工股関節の開発等に取り組んでおります。

高齢化社会が進むにつれ、メタルオンメタル型人工股関節の需要が伸びることが予想されるなど、生体用金属材料としてのコバルト合金が再評価されてきているところですが、今回、国内外におけるコバルト合金に関する研究取組状況、またメタルオンメタル型人工股関節の将来展望等について、広く企業、研究者等の皆様に紹介するために国際シンポジウムを開催いたします。

皆様のご参加をお待ちしております。

【日 時】 平成21年9月4日（金） 13：00～19：30

【場 所】 ホテルメトロポリタン盛岡 NEW WING（4F）

メトロポリタンホール東（交流会：メトロポリタンホール西）

盛岡市盛岡駅前北通2-27 TEL：019-625-1211（大代表）

【内 容】 コバルト合金の摺動性に関する研究の第一人者であるネブラスカ大学のHani Haider氏等、国内外の研究者からコバルト合金の研究開発等に関する最新の動向について講演いただきます。

【参 加 費】 無料（ただし、交流会にご参加の方は会費3,000円を頂戴いたします）

【お申し込み・お問い合わせ先】

新事業・研究開発支援グループ 担当／菊池・高舘

TEL 019-631-3827